

診療科

診療スタッフ

主任部長 日高寿美

部長 鈴木洋行、石岡邦啓、持田泰寛

医長 山野水紀

医員 藤原直樹、尾畑翔太

内科後期専攻医 師田まりえ、岩淵晟英、御供彩夏

診療概要

1999年に小林修三副院長（当時）が赴任し、透析に至らせないよう腎機能改善を目標とする医療および、血液透析・腹膜透析医療を行うようになってQOLを重視し「その人の生き様に沿った治療」を行う腎臓内科として活動してきた。2012年4月に腎臓内科と血液浄化部と腎移植外科を統合して腎臓病センターを立ち上げ、2017年4月に腎移植内科を加えた腎臓病総合医療センターとなった。

腎臓病総合医療センターでは、急性腎炎・慢性腎炎から腎不全を含む腎臓病、さらには膠原病・高血圧症・糖尿病性腎症・全身性血管炎・妊娠関連高血圧などの全身疾患に伴う腎障害などの診療、および持続的血液濾過透析など体外循環を必要とする重症患者の診療を行っている。また、腎代替療法に関しては、腎移植・腹膜透析・血液透析をすべて行うことができる体制である。腎移植は2021年には神奈川県内で最も多く施行した施設になった。在宅血液透析療法も積極的に行っている。

診療実績

外来受診患者数：16,712名（延べ）

新入院患者数：628名

入院患者数：9,416名（延べ）

腎生検数：186件

血液透析患者数：135名

新規血液透析導入患者数：88名

在宅血液透析患者数：2名

腹膜透析患者数：57名

新規腹膜透析導入患者数：13名

腎移植患者数：23名

特殊血液浄化療法（持続的血液濾過透析）：102名

単純血漿交換療法：33名

二重膜濾過血漿交換療法：6名

LDL アフェレシス：11名

免疫吸着療法：3名

エンドトキシン吸着療法,PMX-DHP：6名

末梢血単核球分離：15名

腹水濃縮灌流療法：80名

【学術論文（総説は省略）】

- 1.Oki R, Hidaka S, Mochida Y, et al. De novo ulcerative colitis after kidney transplantation treated with infliximab. CEN Case Rep. 2021;10(4):500-505.
- Taguchi S, Hidaka S, Ishioka K, et al. Renal hemosiderosis presenting with acute kidney Injury and macroscopic hematuria in Immunoglobulin A nephropathy: a case report. BMC Nephrol. 2021;22(1):132
- 2.Suzuki H, Ohtake T, Kobayashi S, et al. Acute kidney injury successfully treated with autologous granulocyte colony-stimulating factor-mobilized peripheral blood CD34-positive cell transplantation: A first-in-human report. Stem Cells Transl Med. 2021;10(9):1253-1257
- 3.Isobe, T, Matsui, K, Ishioka, K et al. Recurrent hemorrhagic shock from hemorrhagic cystitis due to neurogenic bladder. IJU Case Rep. 2021; 4: 379-381
- 4.Salybekov AA, Kunikeyev AD, Kobayashi S, Asahara T. Latest Advances in Endothelial Progenitor Cell-Derived Extracellular Vesicles Translation to the Clinic. Front Cardiovasc Med. 2021;8:734562. Published 2021 Oct 4
- 5.Salybekov AA, Kobayashi S, Asahara T, et al. Extracellular Vesicles Derived From Regeneration Associated Cells Preserve Heart Function After

診療科

Ischemia-Induced Injury. Front Cardiovasc Med. 2021;8:754254. Published 2021 Oct 20

6.Obata S, Hidaka S, Yamano M, et al. MPO-ANCA-associated vasculitis after the Pfizer/BioNTech SARS-CoV-2 vaccination. Clin Kidney J. 2021;15(2):357-359

7.Salybekov AA, Kobayashi S, Asahara T, et al. Personalized Cell Therapy for Patients with Peripheral Arterial Diseases in the Context of Genetic Alterations: Artificial Intelligence-Based Responder and Non-Responder Prediction. Cells. 2021;10(12):3266

8.Hidaka S, Nishimiura A, Ishioka K, et al. Prevalence of mild cognitive impairment and its association with handgrip strength in patients on hemodialysis. Sci Rep. 2022;12(1):3850

9.小林修三：アフェレシス療法の技術 血液吸着法：吸着型血液浄化器レオカーナ 日本アフェレシス学会雑誌 2021, 40(3)：501-505

10.日高寿美、小林修三：臨床と研究 糖尿病透析患者における末梢動脈疾患(PAD) 病態と治療 日本透析医会雑誌 2021, 36(3)：529-537

【学会発表（一般演題は省略）】

1.小林修三：第66回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー5、「透析低血圧と末梢動脈疾患の関連について」,2021.6

2.守矢英和：第66回日本透析医学会学術集会・総会, 教育講演 1-5 「末梢動脈疾患合併透析患者診療指針」,2021.6

3.小林修三：第66回日本透析医学会学術集会・総会, スイーツセミナー5「透析患者の足を救うために」～新たなアフェレシス療法「レオカーナ」への期待～,2021.6

4.大竹剛靖,小林修三：第66回日本透析医学会学術集会・総会 教育講演 2-14 「アフェレシスに関する最近の話題と適応拡大に向けた取り組み」,2021.6

5.Sumi Hidaka：KSN2021 (Invited speaker),”Genetic Disease Recent advances in PKD”,Kidney transplantation for ADPKD patients in Japan,2021.9

6.石岡邦啓：第76回神奈川腎炎研究会,ランチョンセミナー「透析患者における亜鉛不足と心血管障害」,2021.9

7.小林修三：第51回日本腎臓学会西部学術大会,イブニングセミナー「腎性貧血の新たな展開～CKDと心血管障害」,2021.10

8.小林修三：第42回日本アフェレシス学会学術大会,ランチョンセミナー1 「透析患者の足を救うために～新たなアフェレシス療法「レオカーナ」への期待」,2021.10

9.小林修三：第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会,ランチョンセミナー4 「腎性貧血の新たな展開～CKDと心血管障害」,2021.10

10.日高寿美,小林修三：第27回日本腹膜透析医学会学術集会・総会,教育講演 19 「腹膜透析(PD)における足病変」,2021.10

11.小林修三：第53回九州人工透析研究会総会,スポンサードセミナー1 「透析患者における重症下肢虚血 (CLTI) ～新たな治療戦略～」,2021.11

12.日高寿美：第48回千葉県透析研究会,ランチョンセミナー2 「腎性貧血の治療と展望～透析診療の現状を含めて～」,2021.11

13.日高寿美,小林修三：第32回日本糖尿病性腎症研究会,教育講演 5 「糖尿病性腎臓病患者における末梢動脈疾患 (PAD) 対策」,2021.12

14.石岡邦啓：第2回日本フットケア・足病医学会年次学術集会,教育講演 6「透析患者の末梢動脈疾患」,2021.12

15.日高寿美,小林修三：第66回日本透析医学会学術集会・総会,シンポジウム 18 「糖尿病透析患者の末梢動脈疾患 (PAD) ～予防・早期発見・治療」,2021.6

16.塩野恵美子,日高寿美,小林修三：第66回日本透析

診療科

医学会学術集会・総会,シンポジウム2「サブサハラ
アフリカでの腎不全医療看護支援の経験」,2021.6
17.石岡邦啓:第15回日本透析クリアランスギャッ
プ研究会学術集会,シンポジウム2「透析患者の栄養
評価」,2021.8
18.日高寿美,小林修三:第42回日本アフェレシス学
会学術大会,シンポジウム1「アフェレシス療法診療
ガイドラインの現状と今後」,2021.1
19.石岡邦啓,持田泰寛,鈴木洋行,守矢英和,大竹剛靖,日
高寿美,小林修三:第42回日本アフェレシス学会学術
大会,シンポジウム3「新しいDHP機器『レオカー
ナ』の臨床効果」,2021.1
20.小林修三:第53回日本動脈硬化学会,シンポジウ
ム4「慢性腎臓病における心血管障害」,2021.10
21.石岡邦啓,大竹剛靖,日高寿美,小林修三:第27回日
本腹膜透析医学会学術集会・総会,日本フットケア・
足病医学会・日本腹膜透析医学会合同シンポジウム
「腹膜透析患者の足を救う」血液透析患者の末梢動
脈疾患(腹膜透析患者との比較と施設での取り組
み),2021.10
22.守矢英和:第2回日本フットケア・足病医学会年
次学術集会,シンポジウム2「ガイドラインセッシ
ョン-足病重症化予防ガイドラインのハイライト-透析
患者における足病重症化予防」,2021.12
23.真栄里恭子:第2回日本フットケア・足病医学会
年次学術集会,シンポジウム3「透析患者
PAD/CLTIの疫学・特徴(最近の知見)」,2021.12
24.西村彰紀,石岡邦啓,持田泰寛,日高寿美,大竹剛靖,小
林修三:第2回日本フットケア・足病医学会年次学
術集会,シンポジウム3「透析患者PADとサルコペ
ニア・フレイル・認知症」,2021.12
25.大竹剛靖,小林修三:第2回日本フットケア・足病
医学会年次学術集会,シンポジウム3「透析患者の包
括的足病診療に向けた取り組み」,2021.12
26.守矢英和:第12回日本腎臓リハビリテーション
学会学術集会,教育講演4「透析患者の足病変に対す
る治療戦略」,2022.3

27.西村彰紀,日高寿美,小林修三:第12回日本腎臓リ
ハビリテーション学会学術集会,ジョイントシンポジ
ウム3「末梢動脈疾患(PAD)合併透析患者のサル
コペニアと認知症」,2022.3
28.日高寿美,小林修三:第12回日本腎臓リハビリテ
ーション学会学術集会,ジョイントシンポジウム7
「透析患者における末梢動脈疾患(PAD)の現状と
救肢~透析患者のwell-beingを求めて~」,2022.3

その他の活動

1.2022年3月 鎌倉芸術館にて「第3回世界腎臓デ
ー in 鎌倉~早期発見がかん腎!慢性腎臓病治療は確
実に進歩しています」を開催
2.2021年7月,9月,11月,2022年2月 院内にて
「SK腎セミナー」をWEB配信との現地参加のハイ
ブリッド方式で開催

展望/抱負

当科は「腎臓病にならない・腎臓病を早期に発見
する・腎臓病を進めない・腎臓病で命を落とさな
い」をモットーとし、日々診療に励んでいる。シー
ムレスな腎臓病医療を届けられる診療科である。腎
代替療法に関しては、腎移植や在宅血液透析療法、
腹膜透析療法などをさらに積極的に推進していく方
針である。腎臓病を進めないためにも早期発見が重
要であり、医療講演など積極的に行い、近隣のご開
業の先生方との交流を深め、地域と密接な関係を構
築していきたい。そして、日々の臨床現場で生じた
疑問を調査し、医学論文として発信していきたい。